

ITスペシャリストによる働き方改革★★★★

～時短・生産性を向上させる工夫～

この前「働き方改革」と題した企業展示会に行ったけど、どこの企業もITを活用した生産性の向上をアピールしていたな。

IT化といっても、事務処理の効率化であったり、採用や人事管理にRPA[■]を活用しようというものであったり、千差万別ですよ。

① わが社もIT化を
したい

そうなんだよ。どの企業の製品にも魅力を感じるんだけど、どれを選べばいいかわからないんだ。それに、導入したはいいけど、うまく使いこなせないんじゃないかという心配もある。

IT機器を導入しても、急に生産性が上がったり残業時間が減ったりするほど単純なものではありませんからね。

② うちの中でITスキル
を持っている社員が
いないんだ

ITを活用した働き方改革を進める上で、特に経営者や人事部をはじめとする管理部門の人たちは、高いITリテラシー[◇]を持つことが必須です。IT化を図るのに併せ、ITのスペシャリストを育成しましょう！！

③ ITスペシャリストが
かっこいいじゃないか！

育成のための訓練費用に
は助成金も活用できます

助成金を活用し、労務管理担当者をITスペシャリストへと育成しました。すると、その担当者は当社の問題点とそれを解決するための最善のIT機器を提案し、それを導入することによって、労働生産性が飛躍的に向上しました。保守についてもその担当者に管理してもらっています。

④

ITリテラシーの向上が
働き方改革への第一歩となった

■：「Robotic Process Automation」の略。設定した処理内容（シナリオ）に従って定型業務を自動処理し、業務生産性を高める仕組みのこと。
◇：ITをうまく利用する能力。様々なアプリケーションソフトを使いこなして効率的に業務を行うなど、ITに関して広い意味での利用能力のこと。

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：40名

自社の労務管理機器や設備などのIT化を推し進めたいが、自社の中でITに関するスキルやノウハウを有する労働者がいないことから、IT化に二の足を踏んでいる状況であった。



外部機関を利用し、管理部門や労務担当者に対するITリテラシーに関する職業訓練を実施！

【職業訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成】

○人材開発支援助成金

< 特定訓練コース（事業外訓練） >

賃金助成 380～960円/時間

経費助成 最大 60%

< 一般訓練コース（事業外訓練） >

賃金助成 380～480円/時間

経費助成 最大 45%

◆助成金には生産性要件等、一定の要件があります。

- ・訓練を実施したことで、ITスキルの向上した労働者が育成され、その労働者は自社の労務管理上の問題点からどのようなIT機器を導入すべきかを提案してくれた。
- ・提案されたIT機器を導入したところ※、自社の問題を見事に解決し、労働者の生産性が向上するとともに、労働時間が削減されたことから36協定の上限を引き下げた※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com